

HAL2415-09

あげ二郎キット

組替要領書

適用 : AGE415-09

注文コードNo. : T34000610-1

補 足

本キットは気圧リフターAGE415-09専用です。
他の型式の気圧リフターには装着できません。

文書コードNo. : T34009010-2



製品を安全に正しく組付けていただく
ために必ずお読みください。

このたびは弊社製品を
お買い上げいただきありがとうございます。

はじめに

- 本書は本製品の組付方法と組付上の注意事項について説明しています。
組付けの前には必ずこの組付要領をお読みいただき十分理解され、正しく安全に組付けていただき、最良の状態でご使用ください。
- なお、品質・性能向上などの理由で、使用部品の変更を行なうことがあります。
その際には、本書の内容および写真イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げ店にご相談ください。
- 下記マークが付いた項目は、安全上特に重要な項目ですので必ずお守りください。



その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。



その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



その警告に従わなかった場合、けがを負うおそれのあるものを示します。

取扱注意

その警告に従わなかった場合、製品の損傷や故障のおそれのあるものを示します。

補 足

その他、使用上役立つ補足説明を示します。

目次

組付ける前に 次ページ

組付時の注意 次ページ

適正締付トルク表 1 ページ

組付要領 3 ページ

純正部品表 10 ページ

使用上の注意

- 必ず、気圧リフター「あげ太郎」の「取扱説明書」をよく読んでいただいてからご使用ください。
- 傾斜地では絶対に使用しないでください。
- 積荷は片荷にならないよう、天板の中央に載せてください。
- 本キットは、AGE56-12には絶対に使用しないでください。
- 持ち上げ制限重量300kgを必ず守ってください。
- 絶対に人を乗せないでください。

組付時の注意

- 平坦な場所で作業をはじめてください。
- 組付部品のサイズ・個数を確認してください。
- スパナ・モンキー・メガネレンチなどの組付けに必要な工具類をそろえてください。
- 継手・ホースなどの配管部品は、土やゴミを付着させたりキズをつけないよう、ていねいに取扱ってください。
- 組付けの際は、安全のため必ずヘルメット・安全靴・軍手などの保護具を着用してください。
- ネジ部は全長175mm 程度のスパナを使用して締付けてください。
- ホースは無理な曲げ・ねじれがかからない状態にし、鋭利な角部に接触させないようにしてください。

適正締付トルク表

1. 組付・点検・修理などをおこなう場合、ボルト・ナットは規定の締付トルクで締付けてください。

補 足

- ボルトの材質は、ボルトの頭に打刻してある数字で見分けます。
- 締付ける前に必ず打刻数字を確認し、下表に従って締付けをおこなってください。
- 組付面や組付けのボルト・ナット・座金には油をつけないでください。

〔下表／単位は上段：N・m（下段：kgf・m）〕

呼び径	4 T, 4. 6, 4. 8		7 T, 8 T, 8. 8		11 T, 10. 9	
	並目ネジ	細目ネジ	並目ネジ	細目ネジ	並目ネジ	細目ネジ
M5	2.8~4.0 (0.29~0.41)	----- -----	4.9~6.9 (0.5~0.7)	----- -----	6.7~9.4 (0.68~0.96)	----- -----
M6	4.6~6.9 (0.5~0.7)	----- -----	8.3~11.3 (0.85~1.15)	----- -----	11.8~15.7 (1.2~1.6)	----- -----
M8	12.8~16.7 (1.3~1.7)	----- -----	22.6~28.4 (2.3~2.9)	----- -----	28.4~36.3 (2.9~3.7)	----- -----
M10	25.5~33.4 (2.6~3.4)	39.2~45.1 (4.0~4.6)	44.1~55.9 (4.5~5.7)	48.1~55.9 (4.9~5.7)	54.0~69.7 (5.5~7.1)	60.8~70.6 (6.2~7.2)
M12	37.3~47.1 (3.8~4.8)	62.8~72.6 (6.4~7.4)	65.7~83.4 (6.7~8.5)	77.5~90.2 (7.9~9.2)	92.2~116 (9.4~11.8)	103~118 (10.5~12.0)
M14	62.8~80.4 (6.4~8.2)	108~126 (11.0~12.8)	104~132 (10.6~13.4)	124~147 (12.6~15.0)	139~175 (14.2~17.8)	167~196 (17.0~20.0)
M16	86.3~110 (8.8~11.2)	167~191 (17.0~19.5)	149~184 (15.2~18.8)	196~226 (20.0~23.0)	206~226 (21.0~26.0)	260~304 (26.5~31.0)
M18	114~141 (11.6~14.4)	245~284 (25.0~29.0)	196~235 (20.0~24.0)	275~319 (28.0~32.5)	275~334 (28.0~34.0)	343~402 (35.0~41.0)
M20	144~180 (14.7~18.3)	333~392 (34.0~40.0)	240~289 (24.5~29.5)	368~432 (37.5~40.0)	363~442 (37.0~45.0)	490~569 (50.0~58.0)
M22	200~220 (20.4~22.4)	----- -----	----- -----	----- -----	----- -----	----- -----

2. 管用ネジは、全長175mm程度のスパナ・モンキーを使用して規定の締付トルクで締付けてください。（下表）

取扱注意

締め過ぎますとネジがつぶれ、エアもれの原因となります。

① 管用テーパネジの場合

サイズ	締付トルク	
	N・m	kgf・m
NPTF1/16	4.9～9.8	(0.5～1.0)
R1/8	9.8～14.7	(1.0～1.5)
R1/4	29.4～39.2	(3.0～4.0)
R3/8	49.1～58.9	(5.0～6.0)
R1/2	58.9～78.5	(6.0～8.0)
R3/4	98.1～118	(10.0～12.0)
R1	118～137	(12.0～14.0)

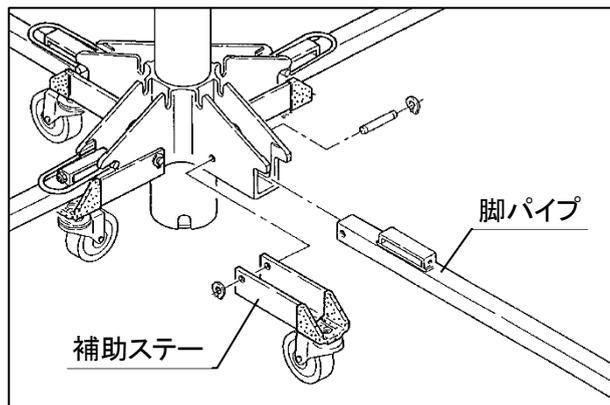
② 管用平行ネジの場合

サイズ	締付トルク	
	N・m	kgf・m
G1/8	9.8～14.7	(1.0～1.5)
G1/4	24.5～39.2	(2.5～4.0)
G3/8	49.1～58.9	(5.0～6.0)
G1/2	58.9～78.5	(6.0～8.0)
G3/4	98.1～118	(10.0～12.0)
G1	118～137	(12.0～14.0)

組付要領

(1) 「あげ太郎」を準備する。(2台分)

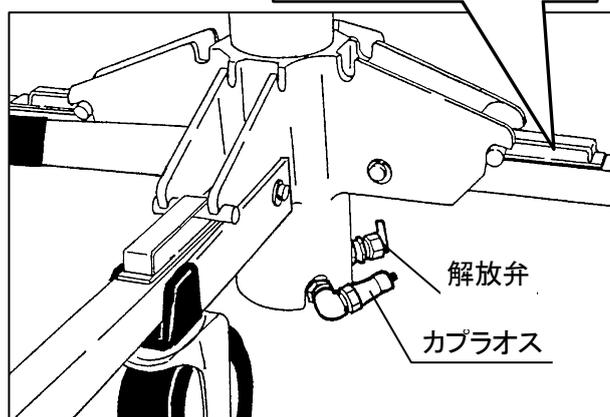
(2) 「あげ太郎」の脚パイプ, 補助ステーを取りはずす。(2台とも)



補 足

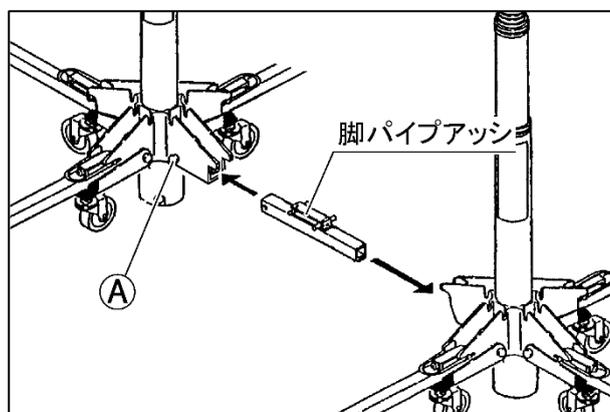
- 脚パイプを取りはずす時、必ず2台の気圧リフターに転倒防止策をおこなってください。
- 脚パイプはシリンダ下部のカブラオスと解放弁の間の位置のものを取りはずしてください。
- 取りはずした補助ステーは使用しません。

解放弁とカブラオスの間の脚パイプを取りはずす

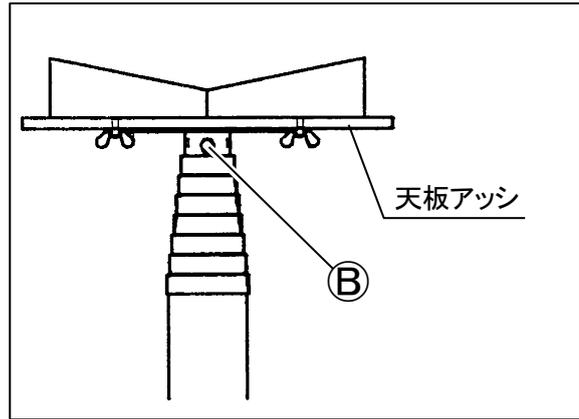


(3) 脚パイプの代わりに本キットの脚パイプアッシを組付け、2台の気圧リフターを連結する。

- | | | |
|------------|----------------------------|----|
| Ⓐ センターピンB | : $\phi 12 \times 74$ (全長) | 2本 |
| 45° スナップピン | : 2.6×63 | 2個 |
| C形止め輪 | : $\phi 12$, 軸用 | 2個 |

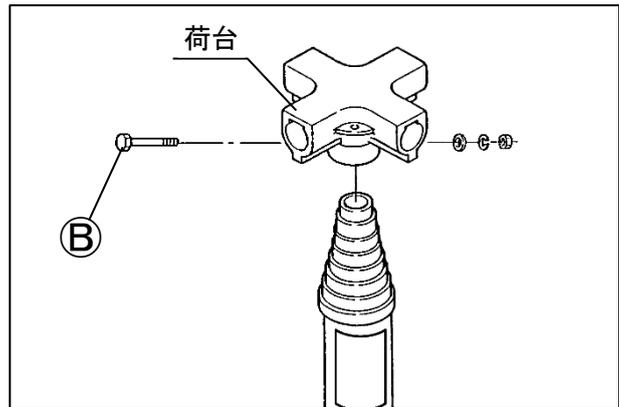


- (4) 「あげ太郎」上端の天板アッシを取りはずす。天板アッシは取付ボルト⑥を取りはずすとはずれます。(2台とも)

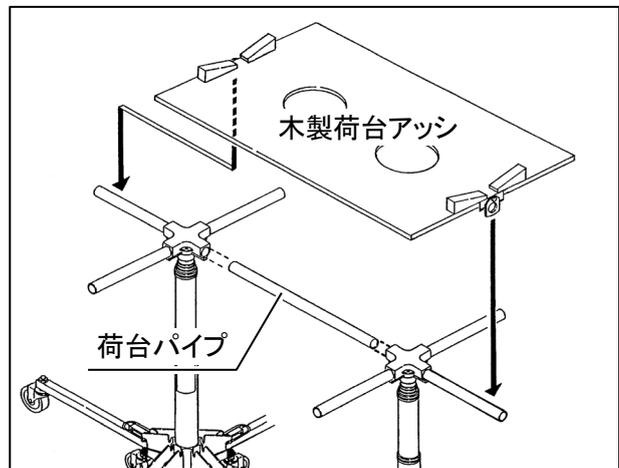


- (5) (4)で取りはずした取付ボルトを使用して、同箇所にも本キットの荷台を組付ける。(2台とも)

⑥ 使用ボルト：気圧リフターのボルトを使用 2本

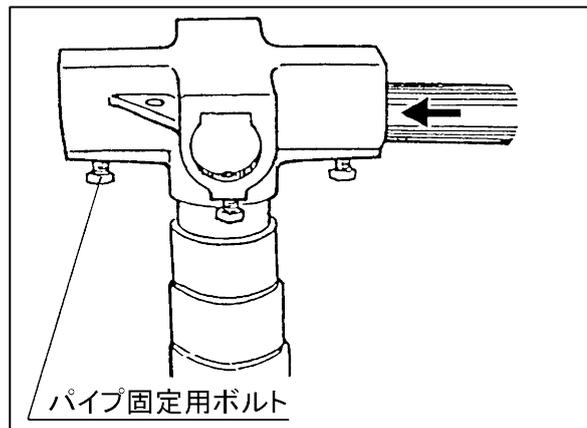


- (6) この荷台に荷台パイプを差し込み、木製荷台アッシを装着する。



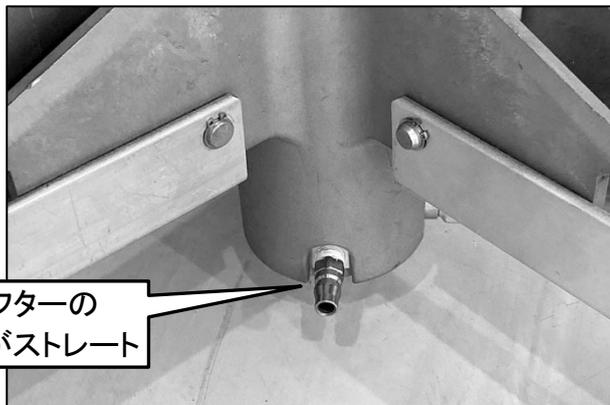
補 足

この時点では、パイプ固定ボルトは締め込まないでください。
パイプをフリーの状態にしておいてください。

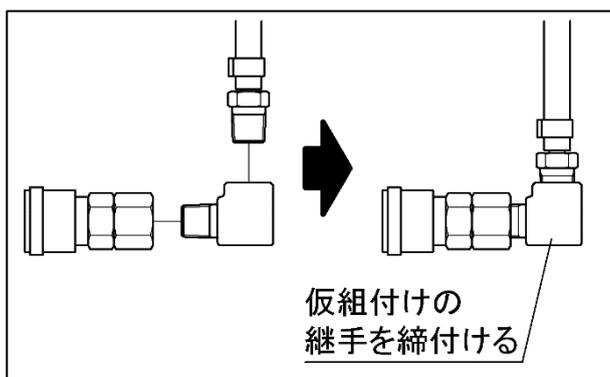


- (7) ゴムホースAアッシ両端のカプラメスを、それぞれ2台の気圧リフター下部のカプラオスに接続する。

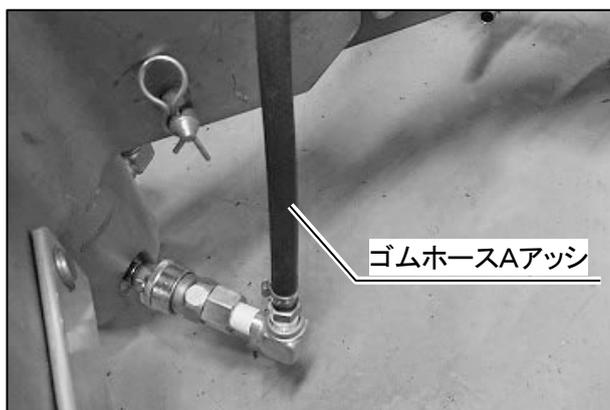
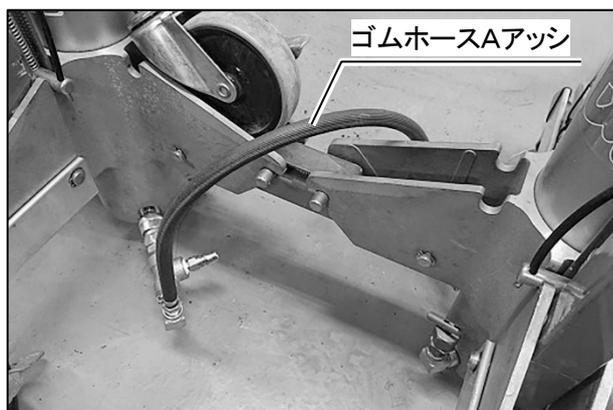
**[気圧リフターのカプラが
ストレートの場合]**



- a) ゴムホースAアッシの仮組付けしてあるオスメスエルボのネジを増し締めする。



- b) ゴムホースAアッシ両端のカプラメスを、それぞれ2台の気圧リフター下部のカプラオスに接続する。



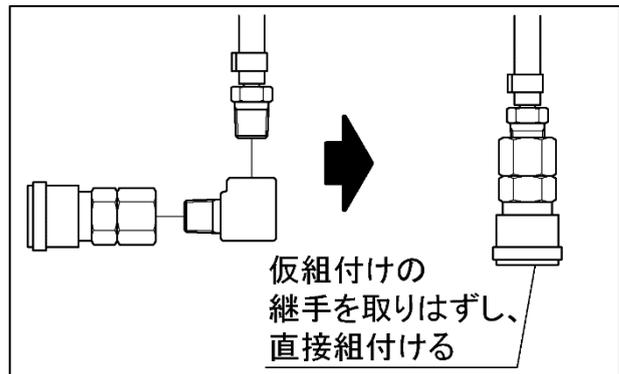
**[気圧リフターのカップラが
エルボを介している場合]**



気圧リフターの
カップラがエルボで
横向き

a) ゴムホースAアッシの仮組付けしてあるオスメスエルボを取りはずす。

b) カプラにホースニップルを組付ける。



仮組付けの
継手を取りはずし、
直接組付ける

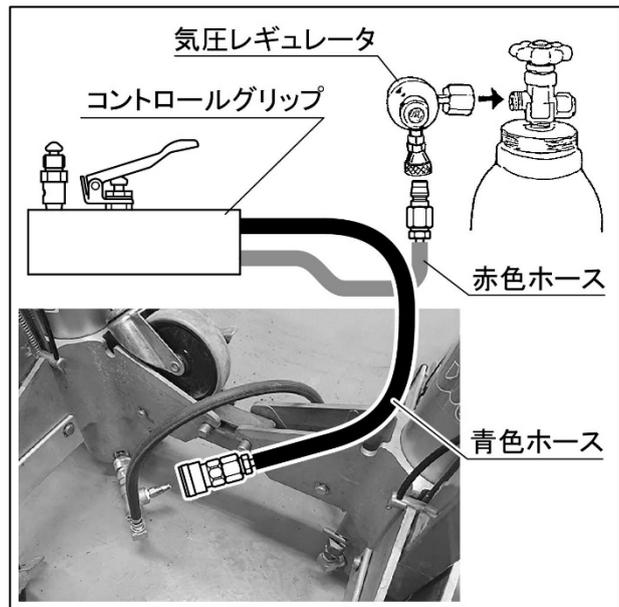
c) ゴムホースAアッシ両端のカプラメスを、それぞれ2台の気圧リフター下部のカプラオスに接続する。



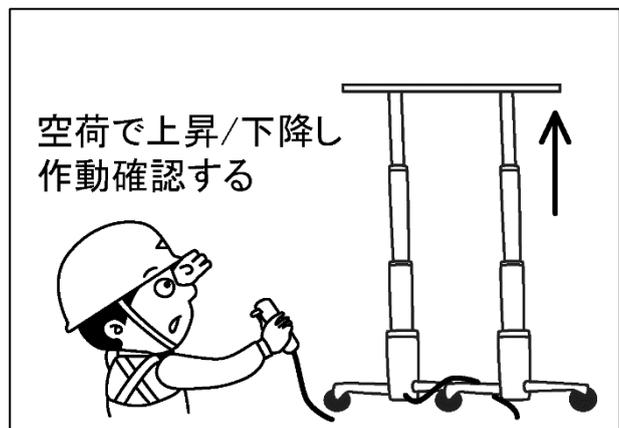
ゴムホースAアッシ

(8) ゴムホースAアッシのカプラオスをコントロールグリップからの青色ホース先端のカプラメスに接続する。

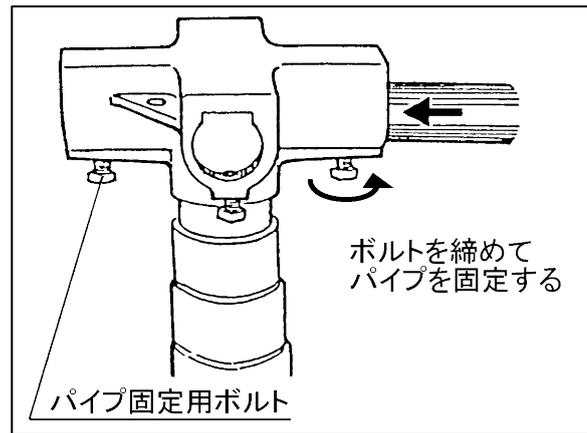
(9) コントロールグリップからの赤色ホース先端のカプラオスを、コンプレッサまたは炭酸ガスボンベの気圧レギュレータに接続する。



(10) 空荷で一度上昇／下降させ、スムーズに作動することを確認する。



- (11) パイプ固定ボルトを確実に締め込む。
(8箇所)



- (12) 気圧リフターのよく見える位置にラベル
(持上制限重量300kg) を貼付ける。



以上で組付完了です。

部品表

この部品表は大切に保管していただき、次のような場合にお役立てください。

(1) 部品注文について

- ① 部品ご注文の際は、部品図（左側）より該当するイラストの図番を確認し、部品表（右側）よりその部品の型式・品番・品名・個数をお確かめの上、ご注文ください。
- ② 「品番」欄中、「-----」印のマークがある部品は、単体販売できませんので、それに該当する完備部品（アッシ）をご注文ください。
- ③ 表中「摘要」欄には、部品の形状・サイズ・規格等を示すデータを記載しています。

(2) 故障した場合

組立順に図解していますので、分解組立の参考にしてください。

(3) 故障診断の場合

サービスマンがこの表を見ながら診断しますので、機械と一緒にお見せください。

(4) 改良変更

本部品表は、改良のため予告なく変更することがあります。

補修部品の供給年限について

この製品の補修部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年です。

ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

FIG. HAL2415-09 あげ二郎キット

